

## 心の中の神々

日本の国の人々は、初詣<sup>はつもうで</sup>に8千万人以上も出かけていきます。私もかつてはその中の一人でした。しかし、今は、意識<sup>てんかい</sup>の転回を心掛け、ようやく心の中から離すことが出来ました。皆さん方はいかがでしょうか。自分の心がつかんできた神々、祭り、祈り、願い事をかけて心の中に大きく作り上げてきた神々とは一体何なのでしょう。皆さん方はしっかりと把握<sup>はあく</sup>していますか。

他力の神々の反省<sup>はんしやう</sup>とって、現象の時間に自分の心の中の神々に出会っていただきましたが、そして、その神々から出るエネルギーがどのようなものであるか分かっていたはずですが、どうでしょうか。

皆さん方の中には、超越者<sup>ちやうえつしや</sup>、超能力者<sup>ちやうのうりよくしや</sup>、超人的存在<sup>ちやうじんてき</sup>といったものに心をしっかりと向けてきた人はいませんか。力を求め、奇跡<sup>きせき</sup>を信じて自分の心を外へ外へと向けていったのではないのでしょうか。心を外に向けていくということがどういうことか、もうすでにおわかりのことと思いますが、どうでしょうか。

私の肉<sup>くねつ</sup>は、愚劣<sup>のきわみ</sup>の極みとまで申しましたが、私の本質<sup>ほんしつ</sup>は神とも申しました。もちろん、皆さん方も神です。「私たちは意識、神の子、神です。私はあなた、あなたは私です。意識は一つ」とお伝えしてきたとおりです。しかし、私は道標<sup>みちしるべ</sup>ともはっきりとお伝えしました。神、本当の自分に帰る本道<sup>ほんどう</sup>を指し示してきました。「私の肉を見ないでください。ほかの人はどうでもよいのです。自分の心をしっかり見ていってください。自分以外の人も現象もすべて自分の心、使ってきた、使っている思いを見るための鏡であり、あなた方の愛の現れでもあります。」と口を酸っぱく<sup>すっぱく</sup>して語ってきました。しかし、皆さん方の中には、私の肉にこだわり、私を見下し、もっと超人的な人をと自分の心を外へ外へと向けていったままでずっとセミナーに参加<sup>てんけん</sup>している方がまだおられるのではないのでしょうか。もう一度自分の心を点検してください。

最近、本当に喜び、喜びの日々を過ごしていますと伝えてくる方が多くなってきました。この学びをしてきてよかったと喜びを伝えてくる方が多くなってきました。「形は、この現象界は影でした。言葉もいりませんでした。やっと、この学びが本物だということが分かってきました。長いことかかりましたが、みんなと一緒にやってきてよかったと思っています。」1と話している人が増えてきました。予定通りとはいえ大変嬉しく思っています。それだけ自分の本当の姿が光であることを信じ始めたからです。当然、愛がその方々から流れ始めました。これから250年かけて人類は大きく変わっていくことでしょ

う。

もう一度だけお伝えしておきます。特に、精神的におかしくなった人、肉体に大変なことが起こった人で、まだ癒<sup>い</sup>えていない人は他力の神々（超能力者、教祖的存在などを含む）の反省を徹底的にやってください。そして、その方たちに与えられている時間は余り残されていないことを知ってください。しかし、焦<sup>あ</sup>っても致<sup>せ</sup>し方ありません。素直になって、「ハイ」と実践をやっていただきます。いつまでもあなた方を信じて待っている私がいることを分かってください。

予告していましたホームページについて一言お話ししておきます。この度試作第 - 6 号を作りました。一度ホームページを開いてみてください。URL は次の通りです。

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/taike/>

赤字のところをクリックすれば、次のようなメッセージ(文書)が読めたり、私の声でメッセージを聞いて頂いたり出来ます。試みてください。当分の間は、試作のものです。活用してください。2001年1月に第1号を用意します。

私はいつだってあなたを見限りません。いつだってあなたを信じています。どんなに私を捨て去ろうとも、どんなに私に憎悪を向けてきても、私はあなたを信じています。あなたの本当の思いを信じているのです。肉につかり切っている心でも、そのところから出てくるのです。私はあなたに手を差し伸べているのです。私の思いをどうぞあなたの心で知ってください。信じて信じて待ち続けている本当のあなたです。私はあなたに伝え続けます。「目覚めなさい、私の方に心を向けてください」と。私に対して出してきた思い、それを私はひとつも責めてはいないのです。ただ知ってほしいだけなのです。苦しみから自分を救い出してほしいのです。過去苦しんできたあなたの意識を、私に向けてどうぞともに歩いてきてください。

Q：下線の部分をもう一度読み直して、しばらく瞑想をしてください。読んでみて、瞑想してみてなにを感じたか、また、どんな思いが出てきたか ノートに書いておきましょう。